平成24年7月
バクスター株式会社
透析製品事業部

腹膜透析製品のご使用における計画停電への対応とお願い

今夏の電力需給対策については、国民各層に節電の協力が呼びかけられており、**計画停電は不実施が原則**とされています。しかしながら、電力需給の状況が厳しい**関西電力、北海道電力、四国電力、九州電力**において計画停電が実施される可能性があり、平成24年6月22日付けで厚生労働省医政局より「計画停電が実施された場合の医療機関等の対応について」4電力会社管内の道府県医療主管部宛てに事務連絡がありました。同様に医療機器製造販売業者関係団体にも同趣旨の事務連絡がありました。仮に計画停電が実施された場合においても、生命関連商品である医薬品等の供給不安が生じないよう、適切に対応することが求められております。

該当地域にお住まいの患者様におかれましては、ご使用いただいております腹膜透析用医療機器につき、下記の点をご注意の上、ご使用いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

お住まいの地域の計画停電に関する情報を必ずご確認ください。

お住まいの地域の電力会社、市区町村、その他報道機関からの計画停電の報告や実施時間帯を必ずご確認ください。

- ゆめ/ゆめプラスをご使用の場合
  計画停電の実施時間をご確認頂き、ゆめ/ゆめプラスの動作及び治療がこの停電時間にかかる際、主治医にご相談いただきますようお願い申し上げます。停電発生時にアラームが正しく作動するかは、出荷時に全てのゆめ/ゆめプラスで確認しておりますので安心してお使いください。動作中に停電になった場合、治療が中断しますので、対応方法は後述の「ゆめ／ゆめプラスの停電時の動きと操作方法 詳細版」をご参照ください。

- くり～んフラッシュをご使用の場合
  くり～んフラッシュには非常用バッテリーが内蔵されております。ご使用されない時も常に電源コードをコンセントに接続して電池を満充電の状態にしておきましょう。尚、使用される際は可能な限り計画停電の時間を避けていただきますようお願い申し上げます。電池の充電状態については後述の「くりーんフラッシュの充電について」をご参照ください。

- CAPD バッグ加温器 及び ぽかおん
  停電中は、加温、保温が停止しバッグの温度が低下します。加温器をご使用の際は、計画停電の時間を見越してご準備いただきますようにお願い申し上げます。停電時の加温方法については後述の「停電時の加温方法」をご参照ください。

■治療に関しましては、かかりつけの医療機関、主治医にご連絡をお願いいたします。
■機器に関するお問い合わせは、弊社CAPD コールセンター(0120-506-440)にご連絡ください。

ゆめ／ゆめプラスの停電時の動きと操作方法　詳細版

停電が発生した場合、ゆめは以下のように動作します。

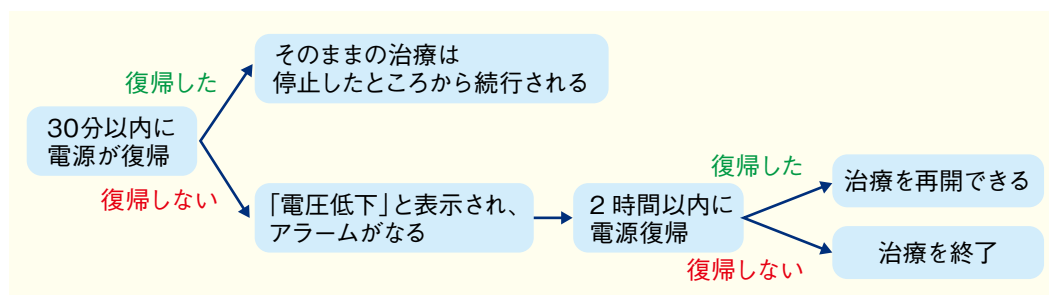
1）治療を開始する前に停電が発生した場合

電源が復帰した際には、表示部は以下の図のような初期画面（電源を入れた時の画面）に戻りますので、再度プライミングを行ってください。

設定確認▽後 治療開始 ➡

この際、再プライミング時に250-300mlほど透析液を余分に使用しますので、その分も含めた透析液がバッグに十分残っているかご確認ください。

2）停電が治療中に発生した場合

機械は一時停止します。その後の動作は電源が復帰するまでの時間によって異なります。

30分以内に電源が復帰した場合

停止したところから治療は続行されます。

30分以内に電源が復帰しない場合

表示部に「電圧低下」が表示されます。

電圧低下

停止ボタンでアラームを止めてください。

ボタンで治療データを確認することができます。

約2時間以内に電源が復帰した場合

電源が復帰した時点で、表示部に「電源が復帰しました」が表示されます。

電源が復帰しました

停止ボタンでアラームを止めてください。

ボタンで治療データを確認することができます。

※停電時の治療時間に関する注意

停電時間は治療時間に含まれますので停電復帰後の貯留時間が短くなったり、治療完了時刻が変更される可能性があります。残りの治療と翌日の対応については主治医にご相談ください。

約2時間以内に電源が復帰しなかった場合

電源が復帰した時点で、表示部に「治療終了　除水量確認後→」の表示がされ、治療が終了します。残りの治療と翌日の対応については主治医にご相談ください。

治療修了　除水量確認後 ➡

計画停電が予定されていて、ゆめ/ゆめプラスの動作および治療時間が停電時間にかかる場合は、治療時間の変更などをかかりつけの病院でご相談ください。

■治療に関しましては、かかりつけの医療機関、主治医にご連絡をお願いいたします。
■機器に関するお問い合わせは、弊社CAPD コールセンター(0120-506-440)にご連絡ください。

くり〜んフラッシュの充電について

常に電源コードをコンセントに接続して電池を満充電の状態にしておきましょう。
満充電であれば8回程度の照射が可能です。

＜充電が必要な時＞

●「電池状態」の文字上の赤ランプが点灯しますので、
できるだけ早く充電しましょう。

要充電時の表示

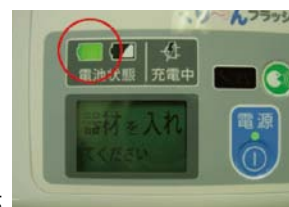
＜充電中＞

●電源コードをコンセントに入れると「充電中」の文字上の⚡マークが光りますので、この状態になっているか確認してください。

充電中の表示

＜満充電＞

●12時間以上充電すると「電池状態」の文字上の緑ランプが点灯し満充電となります。

満充電、電池使用時の表示

●「電池状態」の文字上の緑ランプが点灯していても、充電が3時間未満の場合では、十分な照射が期待できない可能性がありますので、3時間以上の充電を心がけましょう。
※くり〜んフラッシュ取扱説明書の「充電のしかた」P.55 〜 56をよく読んでお使いください。

停電時の対処として役所や消防署、病院など自家発電設備のある公共施設で充電させてもらった事例がありました。

電池がなくなり、電源が使用できない状態が続く場合にどうしたらよいか、かかりつけ病院と決めておきましょう。

■治療に関しましては、かかりつけの医療機関、主治医にご連絡をお願いいたします。
■機器に関するお問い合わせは、弊社CAPD コールセンター(0120-506-440)にご連絡ください。

停電時の加温方法

Q1：停電によりCAPD バッグ加温器の使用ができなくなりました。
透析液を温める方法を教えてください。

A1：あらかじめ主治医と相談の上、下記のような方法で加温してください。

【小型バッグ加温器(ぽかおん)をお持ちの方】

車のシガーライターソケット専用電源コードを接続してください。

※自動車用電源は本来保温目的で使用しますので、家庭用電源を使用する場合よりも液が温まるのに時間がかかります。

※家庭用電源と自動車用電源は同時に入れないで下さい。

※シガーライターソケットの付いていない禁煙仕様の車もありますのであらかじめ確認しておきましょう。

【小型バッグ加温器(ぽかおん)をお持ちでない方】

① オーバーパウチ（外袋）に入ったままの透析液を密封できるビニール袋に入れ、40℃以下のお湯につけて温める。

※43℃以上になると腹膜の熱傷を引き起こす事がありますので、十分にご注意ください。

② 透析液を抱いて体温で温める。

Q2: CAPD バッグ加温器で一度温めた透析液について、加温後に加温器の電源が切れてしまった際、どの程度温度を保持できるでしょうか。

A2：加温器内でよく温まった2L ツインバッグは液温が39℃前後となります。
実際の液温は加温器が設置してある部屋の室温、また加温しているバッグの数に左右されます。
2011年の計画停電の際のデータですが、バッグ加温器の周囲温度が5℃の場合では、1 時間後の液温：34.6℃、最長停電時間3 時間40 分後の液温：25.9℃でした。2012年今夏における計画停電は気温の高い時期ですし、最長停電時間は2時間30分で予定されておりますので、液温低下は緩やかだと思われます。

Q3： 停電の際は透析液の温度が下がってしまいますが、バッグ交換はどのようにしたら良いでしょうか。

A3：いつもより低い温度の透析液をお腹に入れる場合には、いつもより低い場所に透析液を吊り、落差を小さくして透析液が少しずつお腹の中に入るようにすることで、低温による刺激は緩和されます。

■治療に関しましては、かかりつけの医療機関、主治医にご連絡をお願いいたします。
■機器に関するお問い合わせは、弊社CAPD コールセンター(0120-506-440)にご連絡ください。

参考資料

需給ひっ迫警報発令から計画停電への流れ

前日18:00目途

■需給ひっ迫警報の発令（第一報）

- 他社から電力融通を受けても、需給がひっ迫する電力会社の供給予備率が3%を下回る見通しとなった場合、政府から、当該電力会社の管内に対し、警報を発令。
- 翌日行う可能性のある計画停電について電力会社から公表する。

※当日早朝や午前中に大型発電所の計画外停止が重なった場合等においては、急遽、警報を発令する場合がある。

当日9:00目途

■需給ひっ迫警報の発令（続報）

- 当日9:00を目途に政府から発令。その後も需給状況の変化を踏まえて、必要に応じ、続報を発令。

※第1グループ（8:30～）から計画停電を実施する場合は、9:00の警報の発令は行わない場合がある。また、必要に応じ、9:00以前に続報を発令する場合がある。なお、需給ひっ迫のおそれが解消されたと判断される場合には警報を解除する。

計画停電開始の3～4時間前

■「緊急速報メール」発出

- 引き続き、需給のひっ迫状況が解消されない場合、計画停電を開始する可能性がある時間の3～4時間前に、政府から「緊急速報メール」を発信し、電気の利用を極力控えることを要請。

※緊急速報メールは、早朝・深夜の時間帯等、需要抑制効果が見込めないと判断される場合には送信しない。

計画停電実施の2時間程度前

■電力会社が計画停電の実施を発表

- 引き続き、需給のひっ迫状況が解消されず、最大限の融通を受けても中西日本全体若しくは北海道電力管内において供給予備率が1%程度を下回る見通しとなった場合、計画停電を実施する可能性がある時間帯ごとに、その2時間程度前に、電力会社から計画停電の実施を発表

※大型発電機の計画外停止が重なり短時間に需給がひっ迫した場合等においては、警報や緊急速報メールを発令することなく計画停電を実施する場合がある。

節電協力による停電回避

※北海道電力管内については、北本連系線等が計画外停止した場合等においても、更なる発電機等の計画外停止等が停電（計画停電や場合によっては不測の停電）につながる可能性があるため、その旨を速やかに周知する。万一、不測の停電が起きた場合にも、速やかに計画停電に移行する。

参考資料

計画停電を実施する場合の月間カレンダー及びグループ割りの確認方法等

① 月間カレンダー

万が一、計画停電を実施する場合の月間カレンダーについて、各社毎に作成しています。
本カレンダーについては、以下、各社ホームページにも掲載されております。

・北海道電力 http://www.hepco.co.jp/safetynet/pdf/calendar.pdf
・関西電力 http://www.kepco.co.jp/kteiden/schedule/index.html
・四国電力 http://www.yonden.jp/kt/monthly.html
・九州電力 http://www2.kyuden.co.jp/kt_search/index.php/restriction/blackoutschedule

② グループ割りの確認方法

お住まいの地域によって、停電可能性のある時間帯は異なります。お住まいの地域が属するグループについて、月間カレンダーとあわせて、必ず事前にご確認ください。以下、各社ホームページよりご確認いただけます。

・北海道電力 https://www11.hepco.co.jp/kteiden/search.do
※７月２日（月）からの開設となります。
・関西電力 http://www.kepco.co.jp/kteiden/index.html
・四国電力 http://www.yonden.jp/kt/search.html
・九州電力 http://www2.kyuden.co.jp/kt_search/

③ 計画停電に係る総合案内

計画停電に関する総合案内は、以下、各社ホームページよりご覧いただけます。

・北海道電力 http://www.hepco.co.jp/safetynet/index.html
・関西電力 http://www.kepco.co.jp/kteiden/index.html
・四国電力 http://www.yonden.jp/kt/index.html
・九州電力 http://www.kyuden.co.jp/index.html

<参考：電力会社コールセンターについて>

計画停電に関してご不明な点等ございます場合は、以下のコールセンターまでお問い合わせください。

・北海道電力 ０１２０－５５－７８８０
※７月２日（月）に開設予定のため、それ以前は下記「総合案内」までお問い合わせください。
・関西電力 ０１２０－９１１－７７７
・四国電力 ０１２０－４５９－３１１
・九州電力 ０１２０－１８７－３３３
※６月２５日（月）に開設予定のため、それ以前は下記「営業所」までお問い合わせください。

万が一、上記コールセンターにお電話がつながらない場合は、それぞれ最寄りの営業所、事業所までお問い合わせください。（営業所一覧掲載ページ）

参考資料

各電力会社の営業所一覧

・北海道電力　　http://www.hepco.co.jp/cgi-bin/branch/branch_search.cgi
→上記ページからお住まいの市町村の頭文字をクリックしていただきますと、市町村一覧ページに移りますので、お住まいの市町村をクリックしていただき、表示された最寄りの事業所の案内ページに掲載されている「総合案内」の電話番号へお問い合わせください。

・関西電力　　http://www1.kepco.co.jp/office/index.html
→上記ページからお住まいの地域（支店）をクリックしていただきますと、各地域（支店）の詳細地図・営業所掲載ページに移りますので、最寄りの営業所をクリックしていただき、表示された各電話番号へお問い合わせください。

・四国電力　　http://www.yonden.co.jp/corporate/b_esta/index.html
→上記ページからお住まいの地域（県）をクリックしていただき、表示された事業所一覧掲載ページから最寄りの事業所の各電話番号へお問い合わせください。

・九州電力　　http://www.kyuden.co.jp/rate_reception_phone
→上記ページに掲載されている最寄りの営業所の各電話番号へお問い合わせください。